

並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングとネットワーク小特集編集委員会

取り扱うデータの大規模化や解析の高度化，ネットワーク利用の拡大や複雑さの増大に伴い，並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングの重要性が年々高まっています。コンピューティング技術やネットワーク技術の発展に伴い，本研究分野がカバーする対象領域は年々拡大しており，学界のみならず，産学界においても重要な役割を果たすことが期待されています。5月に長崎にて開催された HEART'19 や，11月に長崎で開催される CANDAR'19 など，関連する国際会議の発表者・参加者，関連研究に携わる方々に広く投稿を呼びかけ，本分野における最新の研究成果を集約することを目的に，並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングとネットワーク小特集（2020年12月号）を企画しました。本小特集では，並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングとネットワークに関する論文を広く募集します。並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングに係る有用な手法の提案に加え，具体的なシステムの実装に関するシステム開発論文等も歓迎致します。

1. 対象分野

並列／分散／リコンフィギャラブルコンピューティングとネットワークに関する以下の分野を対象とします。

- ・並列／分散／リコンフィギャラブルシステム向けアルゴリズムとその応用（高性能計算，IoT，機械学習，AI，画像・グラフィックス処理，データマイニングと情報検索，マルチコア・アクセラレータ利用計算，ネットワークアルゴリズム，グリーンコンピューティング，シミュレーションと可視化，スケジューリングと負荷分散，性能モデルと評価など）
- ・並列／分散／リコンフィギャラブルシステムとアーキテクチャ（並列プロセッサアーキテクチャ，クラスタ・グリッドシステム，ネットワークとストレージアーキテクチャ，ネットワークオンチップ，高性能インタコネクタ，FPGA，PLD，動的再構成システム，仮想ハードウェアなど）
- ・並列／分散／リコンフィギャラブルシステム向けソフトウェア（オペレーティングシステム，ミドルウェア，ツール，仮想化技術，並列プログラミングモデルと言語，ウェブサービス，クラウドと分散コンピューティング，クラスタ・グリッドのスケジューリングと資源管理など）
- ・分散システムとネットワーク（ユビキタス計算，P2P ネットワーク，ワイヤレスネットワークとモバイル計算など）
- ・リコンフィギャラブルシステム技術（デバイス・回路，設計・検証，高位合成，低消費エネルギー・非同期・高信頼システム，設計事例）

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。
- ・ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり 8 ページ，レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると，掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

- ・Web による電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。
- ・初期投稿時に，編集可能な論文本体（TeX/Word），図，著者の写真，biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-PA] Parallel and Distributed Computing and Networking を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。
- ・Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2020 年 1 月 7 日（火） 厳守（No Extension）

5. 問合せ先

大下福仁 奈良先端科学技術大学院大学

TEL [0743] 72-5221 FAX [0743] 72-5229 E-mail : f-oosita@is.naist.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 大下福仁（奈良先端大）

幹事 飯田全広（熊本大），高前田伸也（東京大），山内利宏（岡山大）

委員 泉 知論 (立命館大), 伊藤靖朗 (広島大), 井上 拓 (日本 IBM), 小川周吾 (日立製作所), 川原 純 (京大), 吉瀬謙二 (東工大), 北須賀輝明 (広島大), 佐藤幸紀 (豊橋技科大), 佐野健太郎 (理研), 塩谷亮太 (東大), 柴田裕一郎 (長崎大), 芝 公仁 (龍谷大), 杉木章義 (北大), 谷川一哉 (広島市立大), 中島耕太 (富士通研), 中條拓伯 (東京農工大), 中原啓貴 (東工大), 中村嘉隆 (はこだて未来大), 藤原一毅 (NII), 本田巧 (富士通研), 八巻隼人 (電通大), 山本 寛 (立命館大)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2020年8月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2020年9月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn/join/index.html>
- * オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。(オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。) オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。